

# 秋の年次公開検証（「秋の行政事業レビュー」）の 地方開催募集要項

## 1. 募集の目的

本協力団体の募集は、より多くの国民に当該イベントを傍聴いただき、政府の取組についての理解を深めていただくために、地方自治体や大学にご協力いただくことで、より効果的な開催につなげることを目的としております。

参加者にとっては、国の政策について中央省庁の担当者と外部有識者の議論を目の前で見ることができ、政策立案過程やレビュー手法など、行政の取組がより身近になる機会となります。また、協力団体にて開催予定のイベントと合わせて実施することも可能です。

本取組については、インターネット生中継により公開予定ですので、協力団体のPRの機会にもご活用いただけます。本年より、応募に必要な要件を緩和しておりますので、ぜひふるってご応募ください。

## 2. 開催予定日等

### (1) 開催予定日

令和2年11月上旬～中旬のうち1日（土日、平日問わず）

### (2) 開催方法

開催に当たっては、地方会場（本会場）と東京会場を設置し、外部有識者、当事務局、一般傍聴者は地方会場において参加し、説明者（事業所管府省）は東京会場において参加することとします。日程によっては行政改革担当大臣も地方会場に出席いたします。

また、両会場間の議論はテレビ会議システムにより行い、議論の様子は、地方会場での一般傍聴及びインターネット生中継により全面的に公開します。

レビューを行う対象事業については、10月下旬に確定する予定です。また、レビューについては、所要2時間から5時間程度を見込んでいます。

### (3) 募集の対象

道府県及び市町村（東京都以外）

国公立大学（同上）

### (4) 開催主体

本公募により決定する団体の「協力」を得て、行革事務局が「主催」します。

### (5) 費用負担

本イベント開催にあたっては、協力団体の既存施設・設備を利用させていただくことで効率的な開催を図りますが、追加的に発注行為が発生する場合は、原則行革事務局が契約・費用負担いたします。

### 3. 応募方法等

応募に当たっては、**別紙1（応募要件）**に記す要件に御留意いただき、必要事項を**別紙2（応募様式）**に記載の上御応募ください。記載に当たっては、**別紙3（記載例）**を御参照ください。

なお、大学と県など他機関との共同開催の御提案や、東京都近隣県においては、東京会場を設置せず、説明者を含む全参加者が地方会場において議論を行うということも考えられることから、そのような御提案があれば、**別紙2**に記載願います。また、会場候補地については、詳細な写真データを添付願います。

#### （1）公募期間

令和2年2月14日（金）～ 同年4月14日（火）必着

※ 4月中旬～6月中旬に選考・調整を行い、6月下旬に決定予定

#### （2）応募資料の提出

行革事務局ホームページに応募様式等を掲載しております。御応募に当たっては、データ版応募様式をダウンロードいただき、ご記入ください。

※行革事務局ホームページ > 令和2年「秋の行政事業レビュー」地方開催公募ページ  
<https://www.gyokaku.go.jp/review/aki/koubo/>

※ 下記に郵送もしくは電子メールでお送り下さい。メールを送付頂いた際は念のため電話にてご一報下さい。

郵送先：〒100-6029 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル29階  
内閣官房行政改革推進本部事務局 総括班  
TEL：03-6206-6750  
メールアドレス：review.gyokaku@cas.go.jp

### 4. 選定プロセス

#### （1）選定体制

**別紙2**の記載内容及び担当者へのヒアリング内容等を基に、開催に必要な施設・設備・人的協力等及び、効率的な開催にむけた企画提案内容等を総合的に比較・評価の上、当事務局において決定します。

#### （2）開催地決定までの日程

2月中旬～4月中旬	公募
4月中旬～6月中旬	協力団体の選定及び調整
6月下旬	開催日程、開催場所の発表

※ 協力団体の選定及び調整プロセスにおいては、地方会場及び東京会場候補地の下見（打合せ含む）をさせていただく場合があります。

## 5. その他

「秋の行政事業レビュー」は、本公募に基づく地方開催のほか、東京においても3日程度開催予定です。

特段の事情により、開催日程の変更があり得ることをあらかじめ御了承ください。

その他、開催日程、開催方法等について御不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までお問合せください。

問合せ先：内閣官房行政改革推進本部事務局  
吉原 高木  
T E L : 0 3 - 6 2 0 6 - 6 7 5 0 (直通)

## 地方開催に必要な設備要件等

### 【協力団体で用意いただきたいもの】

<b>1. 地方会場の確保</b>
(1) アクセス、収容人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要駅等からアクセスが良く、可能な限り多くの国民が来場可能な会場（収容人数は想定参加人数を収容可能なレベル。200名以上収容可能が望ましい）</li> <li>・会場外部の騒音等により会議の進行が妨げられないこと</li> <li>・会場前方に司会者、評価者等が議論可能なスペースがあること（合計10名程度登壇。長机設置要）</li> <li>・会場内にパーテーション等で区切られた事務局用スペースが設置可能なこと（4名程度＋機材）</li> </ul>
(2) 3系統以上の電源
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3系統以上の電源（各20アンペア程度）</li> <li>（テレビ会議システム：1系統、インターネット配信：1系統、その他：1系統）</li> </ul>
(3) スクリーン・プロジェクタ等
<p>来訪者や登壇者が支障なく議論の様子を確認できるため、以下を基準としたスクリーン・プロジェクタ等が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大スクリーン、プロジェクタ×各1：会場来訪者用（東京会場・インターネット中継を投影）</li> </ul>
(4) インターネット環境（テレビ会議・インターネット生中継用）
<p>特定ポートの制御を行っておらず、常時以下の速度が維持できるインターネット回線が整備されていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議用：10Mbps以上</li> <li>・インターネット配信用：20Mbps以上</li> </ul>
(5) プレイベント会場、控室
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイベントが開催可能な教室、講堂、会議室など（メイン会場とは別会場）（定員：100名以上）</li> <li>・事務局等の控室×2（定員：各20名以上）</li> <li>・メイン会場と隣接していること。（同敷地内で5分以内に移動可能な場所）</li> </ul>
<b>2. 人的サポート</b>
(1) 開催日前日等準備、当日対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の会場設営支援、配布資料の印刷</li> <li>・当日の会場設営、受付、誘導等支援</li> </ul>
(2) 施設・設備の準備、操作等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の開錠・施錠、インターネット接続機材・プロジェクター等の設置等準備及び操作等</li> </ul>

### 【あると望ましいもの】

(1) 音響環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の開催に支障の無いマイク環境（マイク6本程度）、ワイヤレスマイク：1本</li> <li>・マスコミ、テレビ会議、インターネット配信に音声の分配が可能なこと</li> </ul>
(2) テレビ会議システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像及び音声スムーズに流れ、議論をするに当たって支障がないもの</li> <li>・通信が切断された場合に備えたバックアップ体制</li> </ul>
(3) スクリーン・ディスプレイ等
<p>来訪者や登壇者が支障なく議論の様子を確認できるため、以下を基準としたスクリーン等が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中スクリーン×1：会場来訪者用（説明資料（パワーポイント）投影用）</li> <li>・小スクリーン×4：司会、登壇者用（東京会場・インターネット中継を投影）</li> </ul>
(4) 東京会場（東京側会議室）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京23区内</li> <li>・定員20名以上。加えて15名程度の待機スペース</li> <li>・1系統以上の電源（20アンペア程度）</li> <li>・スクリーン、プロジェクタ各1台</li> <li>・テレビ会議システム用に、常時10Mbps以上のインターネット回線</li> <li>・施設の開錠・施錠、インターネット接続機材・プロジェクター等の設置等準備及び操作等</li> </ul>

# 令和 2 年秋の年次公開検証（秋の行政事業レビュー） 地方開催について

## 応募様式

記載日：2020年 月 日

1. 応募者情報		
(1) 協力団体名	(2) 担当者所属・氏名	(3) 連絡先
2. 施設、設備情報		
(1) 会場名等（会場の候補）		
(a) 会場名	(b) 会場住所	(c) 収容定員
(d) 会場利用に係る費用		
(2) 会場設備		
(a) 電源（コンセント数、容量）（3系統、各20A必須）		
(b) スクリーン・プロジェクタ等		
(c) インターネット環境（テレビ会議・インターネット生中継）（常時30Mbps以上必須）		
(d) 音響環境		
(e) テレビ会議システム		
(f) プレイベント会場、控室（本会場とは別に合計3室以上必須）		
(g) 東京会場（東京側会議室）		
(h) 会場設備に係る費用		

### 3. 人的協力

(1) 開催日前日準備、当日対応

(2) 設備の準備、操作等

### 4. 効果的な開催に向けた企画提案内容等

想定参加人数（概算）

※項目は適宜追加していただいて構いません。より詳細な記載をお願いいたします。  
※次葉以降に、地方会場（本会場、会議室、事務局控室等）の写真を添付願います。  
また、その他にも、会場や使用機器等について適宜写真を添付願います。

# 令和2年秋の年次公開検証（秋の行政事業レビュー） 地方開催について

## 応募様式

記載日：2020年2月\*日

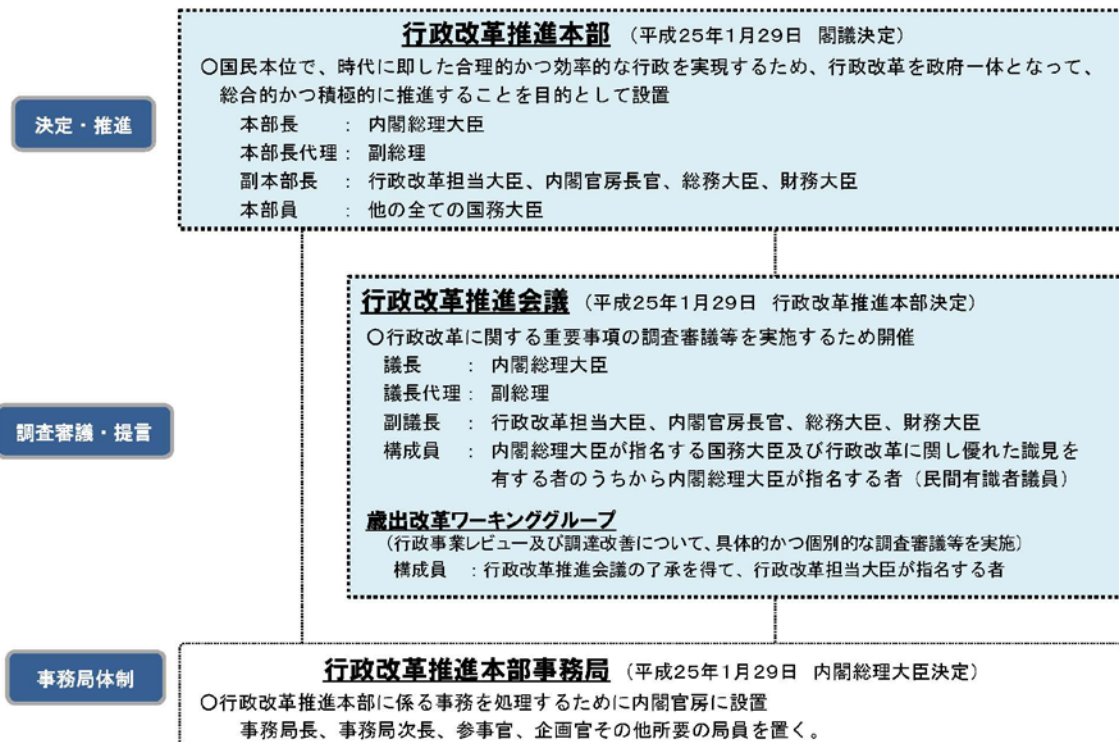
1. 応募者情報		
(1) 協力団体名 国立大学**学院  (共催：**県総務課企画班)	(2) 担当者所属・氏名 ** 一郎  (共催：** 花子)	(3) 連絡先 090-****-****  (共催：080-****-****)
2. 施設、設備情報		
(1) 会場名等（会場の候補）		
(a) 会場名 **大学**キャンパス	(b) 会場住所 **県**市*1-2-3	(c) 収容定員 300人
(d) 会場利用に係る費用 事務局用スペース用のパーテーションが無いため、別途業者に手配が必要。会終了後の清掃の発注要。		
(2) 会場設備		
(a) 電源(コンセント数、容量) (3系統、各20A必須)  5系統(各20A、各4コンセント)あり (うち1系統は既設のプロジェクタ、スクリーン等で利用)		
(b) スクリーン・プロジェクタ等  ・会場前方に200インチ × 1面のメインスクリーン、投影用のプロジェクタのみあり。 ・中スクリーンと小スクリーンは保有しないため、業者に短期レンタル必要。		
(c) インターネット環境(テレビ会議・インターネット生中継) (常時30Mbps以上必須)  ・50Mbps程度のインターネット環境あり(特定ポートの制限無し)		
(d) 音響環境  ・設備要件を満たす音響環境無しのため、業者に手配が必要。		
(e) テレビ会議システム  ・設備要件を満たす音響環境無しのため、業者に手配が必要。		
(f) プレイバント会場、控室 (本会場とは別に合計3室以上必須) ・プレイバント会場(中講義室 定員120名、スクリーン、プロジェクタ、マイク×2あり) × 2室 ・控室(会議室 定員30名) × 3室 ・応接室 ※写真別添のとおり		
(g) 東京会場(東京側会議室) ・**大学東京サテライトキャンパスの会議室が利用可能。 ・20A程度の電源、プロジェクタと100インチのスクリーンあり ・20Mbps程度のインターネット環境あり		
(h) 会場設備に係る費用 上記(b)のうち、中・小スクリーン、(d)(e)について業者に手配が必要。		

<b>3. 人的協力</b>
(1)開催日前日準備、当日対応
前日の準備として職員2名対応。当日の準備として職員3名対応。
(2)設備の準備、操作等
施設の鍵管理、照明の操作、プロジェクタの操作、電源・証明関係の対応で1名対応（上記(1)の人数を含む）
<b>4. 効果的な開催に向けた企画提案内容等</b>
<p>&lt;記載のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大学と自治体の連携や他のイベントとの共同開催による集客など、より多くの国民が参加できる環境の整備や、企画提案、体制面での工夫などのアピールポイントについて記載願います。</li> </ul> <p>&lt;記載の例&gt;（できるだけ詳細にご記載ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本学が所在する〇〇県および県内各団体と連携し、実行委員会を設置し、全面的なサポート体制を構築する。</li> <li>◆ 開催予定日（2020年11月〇〇日）は、本学の学園祭を予定しており、学生はもとより、多くの一般の方が来校される見込みであり、「秋の行政事業レビュー」も多くの方から傍聴いただけるものと考えている。</li> <li>◆ 本学生の代表ならびに〇〇県庁の職員をオブザーバーとして登壇させ、国の事業に対する地方の意見を届ける参加型の地方レビューとする。（提案）</li> <li>◆ 地方開催の1か月前頃、本学学生を主要対象に、行政事業レビューの概要説明と過去のレビューの解説を行い、本番開催への関心を深める（提案）</li> <li>◆ 地方開催の当日イベントとして、行政事業レビューに関する概要説明を行う。 また、公務員志望の学生を中心に公務員の仕事内容のイメージが湧くような座談会を行う（提案）</li> </ul> <p>想定参加人数（概算） 200人</p>

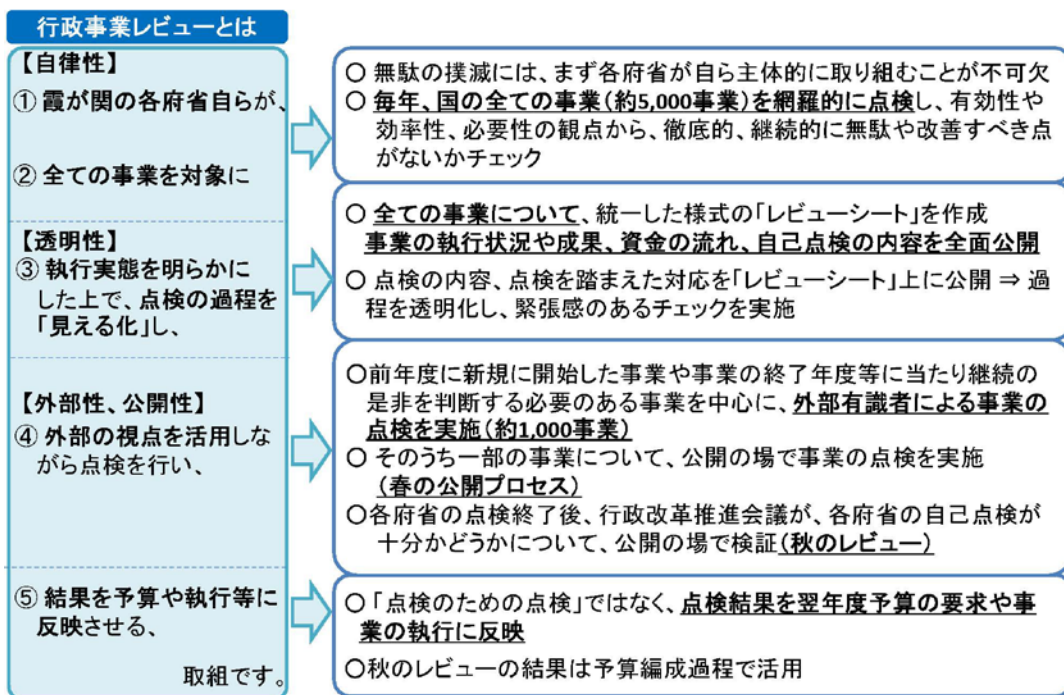
※項目は適宜追加していただいて構いません。より詳細な記載をお願いいたします。  
 ※次葉以降に、地方会場（本会場、会議室、事務局控室等）の写真を添付願います。  
 また、その他にも、会場や使用機器等について適宜写真を添付願います。



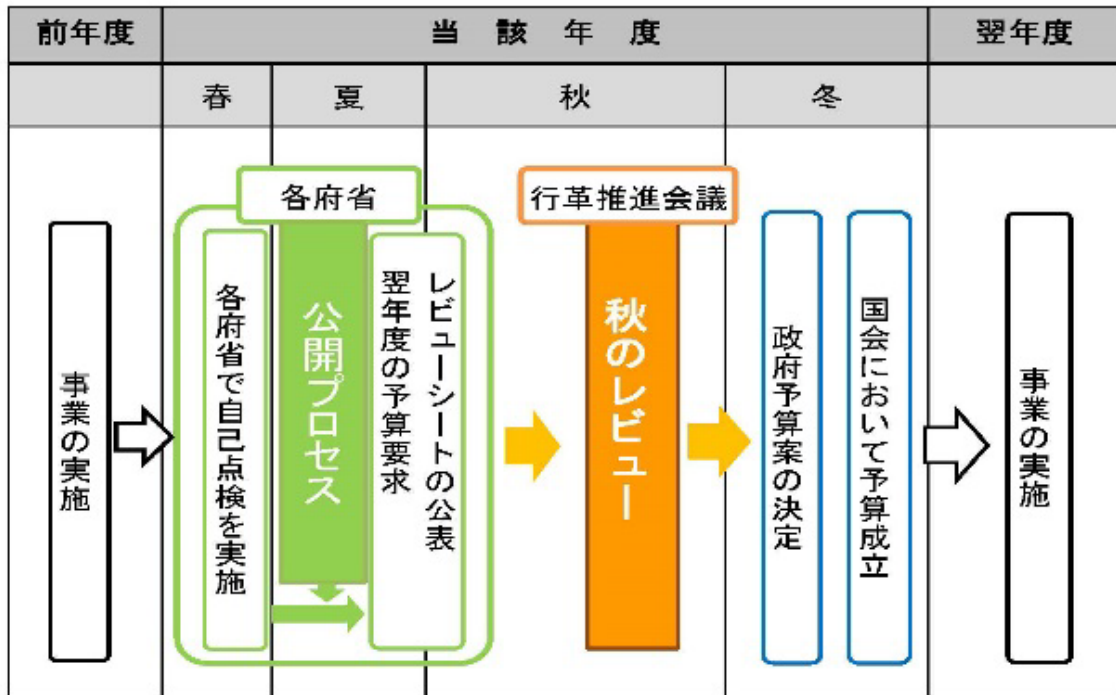
## 政府における行政改革の業務の推進体制



## 行政事業レビューとは



## 行政事業レビューの流れ



◆内閣官房行政改革推進本部事務局ホームページ

<https://www.gyokaku.go.jp/>

◆令和元年度「秋の行政事業レビュー」ホームページ

<https://www.gyokaku.go.jp/review/aki/r01hiroshima/>

※昨年の広島レビューについて掲載しております。

※レビュー当日の様様については、動画にてアップしております。

## 大阪レビュー

日時：平成28年11月5日（土）  
協力団体：大阪大学  
開催場所：大阪大学 豊中キャンパス

レビュー対象事業：

- ①教育（子どもの学習指導）（文科省）
- ②PFI（実例に則して）（内閣府、厚労省、国交省）
- ③住宅セーフティネット（国交省）



特徴：

- ・大阪大学学生による「全国の大学で秋の行政事業レビュー出張版を開催してはどうか」という提言がきっかけとなり、初の地方開催が決定
- ・山本行政改革担当大臣（当時）も出席
- ・開催にあたっては、大阪大学のテレビ会議システムを使用し東京会場（大阪大学 東京オフィス）と接続
- ・約210名の一般傍聴者が聴講

## 徳島レビュー

日時：平成29年11月19日（日）  
協力団体：徳島県  
開催場所：徳島大学 常三島キャンパス 他

レビュー対象事業：

- ①農林漁業の人材確保（農水省）
- ②物流における省エネルギー対策（環境省）
- ③水道事業の基盤強化とPFI導入推進（内閣府、総務省、厚労省、経産省）



特徴：

- ・徳島大学と二つのサテライト会場の計3か所で開催
- ・梶山行政改革担当大臣（当時）が出席
- ・約380名の一般傍聴者が聴講
- ・飯泉徳島県知事より冒頭御挨拶あり

## 山形レビュー

日時：平成30年11月17日（土）  
協力団体：山形大学  
開催場所：山形大学小白川キャンパス

レビュー対象事業：

- ①地域における介護サービス（厚労省）
- ②「ジョブカード」を活用した雇用型訓練（厚労省）

特徴：

- ・ プレイベントとして「政府の行政改革の取組紹介」（講演）  
及び「学生と若手公務員との座談会」を実施
- ・ 当日イベントとして、「我が国の財政を巡る状況」（講演）  
及び「行政事業レビューとは何か」（講演）を実施
- ・ 宮腰行政改革担当大臣（当時）が出席
- ・ 小山山形大学学長より冒頭御挨拶あり



## 広島レビュー

日時：令和元年11月17日（日）  
協力団体：広島県  
開催場所：県立広島大学広島キャンパス

レビュー対象事業：

- ①中小企業の海外販路開拓支援  
（JAPANブランド育成・現地進出支援強化事業）（経産省）
- ②地方の創生（地域と関わる「関係人口」の創出拡大等）  
（総務省）

特徴：

- ・ 当日イベントとして、以下3件を開催
  - ①「EBPM」国の取組最前線（講演）
  - ②「国・県・市仕事の魅力」（公務員パネルディスカッション）
  - ③「我が国の財政を巡る状況と行政事業レビュー」（基調講演）
- ・ 武田行政改革担当大臣が出席
- ・ 湯崎広島県知事より冒頭御挨拶あり



# 国の事業を有識者がチェック！ 「秋のレビュー」今年も広島県で開催！！

## 「秋のレビュー」の地方開催の概要

- ・政府では毎年秋、質の高い行政を実現し、事業の透明性を高めるため、各省と有識者が、一般の傍聴者参加の下、各省の事業について議論する「秋のレビュー」を実施しており、2016年度からは地方でも開催しています。
- ・国の施策がどのように評価・検証され、新しい施策へつながっていくのか？各府省と有識者との間の白熱した議論が目の前で繰り広げられます。会場からの御質問にもお答えする予定です。
- ・当日セミナーとして、有識者による講演や、学生向けイベントも実施します。

詳細は  
裏面へ

## 開催日程（予定）

# 2019年11月17日(日)

武田良太（行革担当）大臣、  
広島県知事も出席予定！

## 会場

# 県立広島大学広島キャンパス

所在地：〒734-8558 広島県広島市南区宇品東1丁目1番71号



※写真は昨年の秋のレビュー実施時のもの（山形県において実施）

## 当日出席有識者



**赤井 伸郎**

・大阪大学国際公共政策  
研究科教授



**伊藤 伸**

・政策シンクタンク構想日本  
総括ディレクター



**亀井 善太郎**

・PHP総研主席研究員  
・立教大学大学院21世紀  
社会デザイン研究科  
特任教授



**土居 丈朗**

・慶應義塾大学経済学部教授



**中空 麻奈**

・BNPパリバ証券  
市場調査本部長

## 傍聴申込方法

行革事務局HPの傍聴申込フォームからお申し込みください

(URL) <https://www.gyoukaku.go.jp/review/aki/r01hiroshima/index.html>

申込フォーム



インター  
ネット中継



【主催】内閣官房行政改革推進本部事務局 【協力】広島県

【本件に関する問い合わせ先】内閣官房行政改革推進本部事務局 (03-6206-6750)

# スケジュール

時間	テーマ	講演者等	備考
10:00-11:00	EBPM : 国の取組 最前線 ※EBPM (Evidence-based Policymaking) : 統計データなど具体的な根拠を用いて政策を立案すること	・亀井 善太郎 (PHP総研主席研究員、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授) ・高角 健志 (内閣官房行政改革推進本部事務局参事官)	主に以下の方向け ・国・自治体職員 ・行政の仕事に関心のある方
上と同時並行	国・県・市の仕事の魅力 (パネルディスカッション)	国・広島県庁・広島市役所で働く若手公務員	主に学生・公務員志望者向け
11:15-11:45	【基調講演】我が国の財政を巡る状況と行政事業レビュー	土居 丈朗 (慶應義塾大学経済学部教授)	
13:00-16:00頃	秋のレビュー ※対象事業 : ・地方の創生 (地域と関わる「関係人口」の創出拡大等) ・中小企業の海外販路開拓支援 (JAPANブランド育成・現地進出支援強化事業)	・赤井 伸郎 (大阪大学国際公共政策研究科教授) ・伊藤 伸 (政策シンクタンク構想日本 総括ディレクター) ・亀井 善太郎 ・土居 丈朗 ・中空 麻奈 (BNPパリバ証券市場調査本部長)	・武田良太 (行革担当) 大臣出席予定 ・湯崎英彦広島県知事 挨拶予定

## 講演者等詳細

### 【10:00～11:00 EBPM : 国の取組 最前線】



**亀井 善太郎**

・PHP総研主席研究員  
・立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授



**高角 健志**

内閣官房行政改革推進本部事務局参事官

EBPM (Evidence-based Policymaking) について、あなたはどう感じますか？あるべき政策の見取図を示し、統計データなど具体的な根拠を用いて政策を立案するEBPM。うまく行政の現場に取り入れるにはどうすればいいのでしょうか？国の取組の最新情報と、実際に取り組む上でのヒントをご紹介します！

### 【10:00～11:00 国・県・市の仕事の魅力 (パネルディスカッション)】



**高木 みなみ**

内閣官房行政改革推進本部事務局主査



**山本 健太**

広島県総務局経営企画チーム主事



**小川 礼恵**

広島市経済観光局観光政策部主事

公務員志望の皆さん、進路選択に役立つ情報を手に入れるチャンスです！公務員、と一口に言っても働く場は様々ですが、それぞれどのような業務を行っているのでしょうか？今回は、国・広島県・広島市の若手公務員たちが、日々の業務内容ややりがいなどについて、ざっくばらんにパネルディスカッションします。

### 【11:15～11:45 (基調講演) 我が国の財政を巡る状況と行政事業レビュー】



**土居 丈朗**

・慶應義塾大学経済学部教授

悪化していると言われる我が国の財政ですが、具体的にはどのような状況なのか、一緒に考えてみましょう。また、財政健全化の観点から、今回の秋のレビューがどのような意味を持つのかについてもお話しします！

# 内閣官房行政改革推進本部事務局 ホームページ・SNSアカウントのご紹介

## 行革事務局HP

<https://www.gyoukaku.go.jp/>

☆行革事務局が担当する様々な政府の取組を掲載しています！

行政事業レビュー、調達改善の取組、EBPMの推進など



行革HP

## Twitter

フォロー  
お願いします！

<https://twitter.com/gyouseijigyoure>

☆行革事務局からの様々なお知らせをツイートしています！

行政事業レビュー当日の様子、イベントのお知らせなど



Twitter

## Facebook

<https://www.facebook.com/gyouseikaikaku/>

☆行革事務局のイベント情報を掲載しています！



行革FB

<内閣官房行政改革推進本部事務局>

住所：〒100-6029 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング 29階  
連絡先：03-6206-6750（直通）